

南スーダンPKO日報問題 が問いかけるもの —公的情報のあり方を考える—



◆講師◆

布施 祐仁 氏

ジャーナリスト。南スーダンPKO日報問題をスクープ。福島第一原発で事故収束作業に当たる労働者を取材した「ルポ イチエフ」(岩波書店)で平和・協同ジャーナリスト基金賞と日本ジャーナリスト会議のJCJ賞を受賞。著作に「経済的徴兵制」(集英社新書)ほか。

駆け付け警護などの新任務を与えられ、青森から部隊が派遣されていた陸上自衛隊の南スーダンPKO。その日報を、自衛隊が廃棄していたとされた問題は、実は電子データで保管していたことが分かって波紋を広げました。

この日報問題をスクープしたジャーナリストの布施祐仁さんが、青森で講演することになりました。

PKOのような重要な問題を私たち市民が議論するためには、公的な情報がきちんと作成、管理、公開されることが欠かせません。

取材の体験に基づいた貴重なお話をうかがって、改めて、公的情報のあり方を考えてみませんか。

◆日時

2017年(平成29年)9月15日(金)
18:00 ~ 20:00(17:30開場)

◆場所 ワ・ラッセ イベントホール
青森県青森市安方1丁目1-1

